

技術開発完了報告

四国森林管理局

課 題	再造林地でのノウサギ食害対策について				開発期間	平成29年度～令和4年度			
開発箇所	四国局管内	担当 部署	森林技術・ 支援センタ ー	共同 研究 機関	技術 開発 目標	3	特定区域 内 外		
開発目的	植栽計画の段階から、適切なノウサギ食害対策を講ずることができるよう、ノウサギの被害状況を把握し効果的な食害防止対策に繋がる手法を開発・検証する。								
年度別 実施 経過	平成29・30年度		平成31 令和2年度		平成3年度		令和4年度		
	実施内容	普及 指導	実施内容	普及 指導	実施内容	普及 指導	実施内容	普及 指導	
	1.既存情報の収集 分析 (文献により) 2.既知の捕獲わな での検証 (くくりわな) 3.新たな捕獲わな の開発 4.捕獲効率向上手 法の検証 (誘引餌・捕獲手 法、設置箇所)		1.既知の捕獲わ なでの検証 (くくりわな) 2.新たな捕獲わ なの開発 3.捕獲効率向上 手法の検証 4.ノウサギの行 動圏把握調査 (令和2年度よ り取り組み)		1.既知の捕獲わな での検証 (くくりわなの 改良) 2.新たな捕獲わな の開発 (開発した箱わ なと市販の箱わ なによる捕獲試 験、捕獲検証) 3.捕獲効率向上手 法の検証 (誘引餌、わなの 設置場所) 4.ノウサギの行動 圏把握調査 (GPS 首輪のメ ンテナンスに時 間が掛かり未実 施)		1.既知の捕獲わ なでの検証 既知の捕獲用 「くくりわな」 の設置場所と 「くくりわな」 の改良 2.新たな捕獲わ なの開発 (開発した箱わ なと市販の箱 わなによる捕 獲試験、捕獲検 証) 3.捕獲効率向上 手法の検証 (誘引餌、わな の設置場所) 4.ノウサギの行 動圏把握調査 (7月～10月 実施) 5.とりまとめ		

開 発 成 果 等	<p>1.既知の捕獲わなの検証</p> <p>現在ではノウサギの捕獲経験者は少なく過去にくくりわなを使用してノウサギ捕獲を経験してきたOBの指導を受けて取り組んだが、実際にわなを掛けてみると、ノウサギの通り道の見極めに熟練度が必要なためくくりわなでの捕獲の難しさを再確認することとなった。</p> <p>しかし、積雪時の足跡を確認することで経験の少ない者であっても冬場には捕獲できる可能性はあることは確認できた。</p> <p>技術継承のため捕獲わなの作成から仕掛け方のビデオを作成してYouTubeや当センターのホームページに掲載して普及を行っている。</p> <p>2.新たな捕獲わなの開発</p> <p>既存の捕獲わなはノウサギ捕獲にはサイズも大きく重たいため、林業の現場で使用できる軽量でコンパクトなノウサギ専用の落とし扉式の箱わなを開発した。</p> <p>さらに、トリガー部分に改良を加えることで誤作動が減り仕掛け作業も改善された。</p> <p>3.捕獲効率の向上</p> <p>開発した箱わなに使用する誘引餌を探求し、現地に自生しているヤクシソウを使用したことで捕獲効率の向上に繋がった。</p> <p>4.ノウサギ行動圏把握</p> <p>小型哺乳類用のGPS首輪を使用して、2頭のノウサギの行動圏把握調査を実施した。同時期（7月下旬から9月末までの約2ヶ月間）に同場所で2頭のノウサギのGPSデータを取得出来たことで、データ量としては数が少ないものの、データ解析を行い今後増えると予想されるノウサギ食害防止の基礎データとしての活用が期待できる。</p>
-----------------------	--